

第4次武蔵野市民地域福祉活動計画策定に伴う地域懇談会の実施について

1 実施目的

- ・第3次地域福祉活動計画策定時に策定した「地域社協別地域福祉活動計画」の振り返り
- ・その地域に住む人たちが感じている課題の発見と共有
- ・今後、6年間の「地域社協別地域福祉活動計画」の策定

2 実施方法等

- ・主催（共催）：実施対象地域の地域社協（福祉の会）と武蔵野市民社会福祉協議会
- ・対象地域：地域社協のエリア別13地域で実施
- ・参加者：各地域社協の運営委員やそのエリアにお住まいの方（チラシ等による周知を実施）
- ・回数と内容：以下の記入シート（模造紙サイズ）を用意し、参加者の意見をまとめていった
 - シート① 前回の「地域社協別地域福祉活動計画」の振り返り
 - シート② 生活上の困りごと、こんな地域にしたいという意見出しとグルーピング
 - シート③ 今後、取り組んでいきたいことと各団体等が出来るようなこと
- ・シート①～③の作成とその内容を基にした新たな「地域社協別地域福祉活動計画」の策定を、各地域社協3回程度の地域懇談会等で実施する予定
- ・地域によっては、シート①「前計画の振り返り」や新たな「地域社協別地域福祉活動計画」の策定は、地域社協の役員会や運営委員会で実施するところもある
- ・進め方：各会とも、出席者を5～8名程度のグループに分け、意見交換を行う形で実施
- ・実施状況：別紙のとおり

○地域懇談会のまとめと9月19日第3回策定委員会での協議

- ・第3回策定委員会資料として、資料4「地域懇談会からの269名の市民の声」を添付。地域懇談会で出された地域の課題などを分類したものとなっている。
- ・第3回策定委員会では、グループに分かれ、各委員の立場から気になる点や取り組みそうな点、共感できる点などについて、資料を基に意見交換を実施していただく。
- ・特にグループ毎に意見交換を行うカテゴリーは指定しない。各委員が気になるカテゴリーについて、意見交換を実施。特に「武蔵野市の地域課題」と考えられるような内容、キーワードが出るとよい。